

平成23年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	63	学校名	県立江戸崎総合高等学校				課程	全日制			学校長名	千葉 孝志				
教頭名	飯山 克則		大和田 綾子							事務(室)長名	張替 晴男					
教職員数	教諭	46	養護教諭	1	常勤講師	3	非常勤講師	5	実習教諭, 実習講師, 実習助手	7	事務職員	5	技術職員等	6	計	73
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数				
	総合学科	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
		91	109	111	84	108	74			310	267	15				

2 目指す学校像

- (1) 規律を重んじながら生徒一人一人の個性を伸ばす、創意と活力に満ちた学校
 (2) 地域の様々な教育的ニーズに応える、生徒、保護者及び地域住民に広く信頼される学校
 (3) 生徒一人一人の興味・関心、能力・適性に応じた進路の実現ができる学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	生徒間の学力差が比較的大きくなる。進路を自ら見定め、英語の力を伸ばす。基礎学力を徹底的に学び、家庭学習を習慣化する。	<ul style="list-style-type: none"> 個人に合わせた学習のきめ細かな指導を実践する。 授業の改善に積極的かつ継続的に取り組む。 家庭学習の習慣を身に付けさせるための具体的な工夫をすること。
進路指導	進路希望は多岐にわたる。就職先が不明なまま卒業する生徒が増えている。職業観を醸成し、社会人としての自覚を促す。	<ul style="list-style-type: none"> 入学前の科目や進路の履修状況を把握し、個別指導を行う。 職業見聞や面接の機会を増やし、職業観を醸成させる。 労働者としての自覚を促し、社会人としての自覚を醸成させる。
生徒指導	生徒の服装・容姿が清潔で、髪型が整っている。挨拶が丁寧で、礼儀正しい。生活態度が向上している。	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活の全過程で、服装・容姿、挨拶、礼儀、生活態度などを徹底指導する。 生徒の生活態度を向上させるための指導を行う。 生徒の生活態度を向上させるための指導を行う。
特別活動	学校行事（生徒会）への参加率が向上している。部活動への参加率も向上している。積極的な参加を促す。	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事に見通しをもち主体的に取り組むためのHR活動の在り方を研究すること。 部活動を活性化し魅力あるものとしながら、加入率を向上させること。

4 中期の目標

- 1 生徒の学習意欲を高めるために、興味・関心をもたせる題材や指導法の工夫改善に取り組む。
- 2 人権教育や道徳教育の指導改善を通じて心の教育の充実を図る。
- 3 生徒の進路希望実現のために、進路ガイダンスや科目選択のためのきめ細かな指導体制を構築する。
- 4 生徒が大きな達成感を味わえるように、学校行事等の内容の一層の充実を図る。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
個々に応じた確かな学力の定着 (1) 授業に臨む態度の育成による学力の定着 (2) 大学入試に対応出来る学力の育成 (3) 実業系列選択者の専門性を高める	授業に臨む基本的な姿勢の在り方について確認し、その徹底を図る。 授業交換を原則とし、自習時間を極力設けない。 英語・数学での習熟度別学習指導の工夫改善に努めることなど、きめ細かな指導の充実を図る。 積極的に情報を収集し、指導体制・指導方法の更なる検討をする。 センター試験に対応できる効果的なカリキュラムの検討を継続する。 知識・技能の習熟を図る指導法の工夫改善を図る。 各種資格取得者数を増加させる。
規律ある生活態度の育成 (1) 日常的・継続的な生活指導を徹底する (2) 倫理観の育成に努める	頭髪・服装・遅刻指導について、具体的な指導内容を生徒に十分に理解させることを通じて効果を高める。 生徒指導に対する職員間の共通理解を深め、一致して指導に当たる。 挨拶の徹底や集会時の話を聞く態度の育成に努める。 道徳の授業、LHRなどを通して倫理観についての意識を深めさせる。 保護者に対して、様々な機会を通して規則・規律の尊重についての理解を求める。
進路希望の実現 3年間を見通した計画的な進路指導の実践 (1) 進路について自ら考え主体的に決定させる (2) 進路希望に応じた学力の定着や資格取得に努める (3) 進路希望実現のための指導方法の工夫改善を図る	「産業社会と人間」の時間の一層の充実に努める。 3年間を見通した進路シラバスに基づく指導を実践する。 模擬試験や資格取得に向けた指導を計画的に実施し、成果を上げる。 進学・就職指導の一層の充実を図るため、「進路のしおり」「進学指導の手引」を十分に活用する。 進路希望の変更に対応できる柔軟なシステムを構築する。
学校行事や部活動への積極的な参加 (1) 部活動への積極的参加 (2) 学校行事への積極的な参加	部活動への加入率を高めることにより、学校生活への興味・関心を高める。 個々の生徒が積極的に参加できる工夫をする。 ボランティア活動へ積極的に取り組もうとする意識を育てる。